



# 優しく遙く

令和 7年 2月 28日  
市川市立第六中学校  
校長 河合 滋



## 薬物乱用防止教室



2月4日（火）1, 2年生を対象に、学校薬剤師さんによる薬物乱用防止教室を行いました。薬の正しい飲み方やオーバードーズ、違法薬物、たばこ等の怖さなど、写真やイラストを交えてわかりやすく説明していただきました。生徒はメモを取りながら、自分事として真剣にお話を聞いていました。タバコを吸う人と、吸わない人との寿命の差からたばこの害を計算すると・・・一本あたり5分30秒もの寿命が縮まる計算になると聞いてびっくりしました。

講師の薬剤師さんは、教室の照度や空気の汚れ、水道やプールの水の水質検査など、見えないところで六中を支えてくれています。貴重なお話をありがとうございました。



## 第5回学校運営協議会

2月6日（木）に今年度最後の学校運営協議会が開かれました。  
12月に実施した学校評価アンケートの集計結果に基づきながら  
1年間の学校運営を振り返り、様々なご意見をいただきました。



また、来年度の学校運営方針を承認していただきました。下記の6点を重点として学校運営を進めてまいります。ボランティア活動は引き続き推奨していきます。読書活動は年間を通して、全校で取り組みたいと思います。部活動をはじめ、様々な活動で保護者や地域の方にご支援をいただくことになると思いますが、どうぞご理解ご協力をお願いいたします。

### ＜令和7年度 学校経営の重点＞

- ① 一人一人を大切にする生徒指導の実践
- ② 多様性を認め人権を大切にする教育活動の展開
- ③ ボランティア活動、読書活動の推進
- ④ 相手に軸足を置いた、保護者対応
- ⑤ 部活動や体験活動等における地域との連携
- ⑥ 指導のベクトルを合わせ、

業務の平準化と働き方改革の推進



# 市長賞・教育長賞・新聞組合賞 受賞！

第14回市川市小中学生新聞感想文コンクールの中学生2年生の部で、六中の生徒が市長賞、教育長賞、新聞組合賞の3賞を受賞しました。その中の一つを紹介します。



## 「便利なAI、その反面…」

感想文を書くために新聞をめくっていたら、「AI」という文字が目に飛び込んできました。私も兄も調べものなどでAIを活用しているし、今どきだなと思い、記事の内容が気になりました。

チャットGPTを「現在使っている」と回答した人の約25%が会話相手・相談相手として、約68%が情報検索や知識を得るために使っているということでした。部長などの偉い人が職場のコミュニケーションをとるためにAIに頼っていると知って驚きました。

部長という多くの人を動かすような人物が、AIの判断を自分の判断にしてしまっている、それが世の中に浸透してきている事実にショックを受けました。相手を傷つけず的確に指示できるという良い面はありますが、「心配になったらAIに聞く」これが日常になってきてしまうと、自分の脳で判断できなくなり依存に繋がる恐れがあると思います。ただ、時間がない時や人に言いづらかったり相談しづらいことは、AIに聞いたり頼ったりして、程よく使うと良いのではないかと考えます。

AIのおかげで相談しづらいことも気軽に相談できたり、的確に指南してもらえる反面、AIに頼りすぎることは人間の判断能力を低下させ、自分の考えを自覚できない危険があるかもしれませんと怖くなりました。使い方には十分気をつけなければいけないと感じます。本当に必要な時以外は、人に相談したり自分で調べたり、自分の頭を使っていくことが大切だと思いました。

※市川市新聞販売組合では「すべての教室に新聞を」の方針のもと、市内中学校のクラスに新聞を無償で提供してくれています。新聞には興味のある記事以外に、新しい発見や出会いがあります。新聞を読む習慣ができるといいですね。

## 職員の離退任について



今年度末の職員離退任につきましては、3月25日（火）の修了式後に離退任式を行います。異動する職員につきましては、事前に一斉メールでお知らせいたします。

なお、異動先につきましては新聞発表後、同メールにて再度お知らせいたします。

※学校ホームページには、普段の学校の様子を発信しています。また、緊急時の連絡の手段として情報発信することもあります。表題上部のQRコードからご覧ください。

文責 校長